



株式会社 エムオーテック

会社案内



技術と環境の調和をめざす重仮設のパイオニア



M.O.TEC CORPORATION

M.O.TEC

営業部門

重仮設機材の賃貸・販売

技術部門

建設基礎工事のサポート

信頼を築き上げてきた70年

創立以来「豊かな国土づくり・社会資本の整備」という使命のもと
良質な重仮設機材の賃貸と建設基礎工事をサポートする
豊富なノウハウを駆使して、複雑化・高度化する基礎工事分野で
長期にわたり高い評価を得てまいりました。

力溢れるこれからのエムオーテック

技術と環境の調和をめざす

重仮設のパイオニア

工事部門

信頼性の高い施工力

工場部門

重仮設機材の製造・加工・品質管理

会社概要

商号	株式会社エムオーテック		
本社	東京都港区三田1丁目4番28号		
代表者	代表取締役 宮本 剛		
設立	1953年9月7日		
資本金	3,226,185,000円		
事業内容	鋼矢板、H形鋼、鋼製山留、覆工板、トレンチシステム等建設基礎工事用仮設機材の賃貸、販売、工事、整備加工、運送等を行っております。これらの鋼材は日本製鉄株式会社の製品が主体で、主にエムエム建材株式会社から仕入れて、得意先（建設会社など）に鋼材の賃貸、販売等を行っております。また、エムオー工事株式会社（連結子会社）は当社の工事を行っております。M.O.TEC VIETNAM CO., LTD.（連結子会社）も現地ベトナムにて事業活動を行っております。		
建設業許可	特定建設業 特定建設業 特定建設業	土木工事業 とび・土工工事業 鋼構造物工事業	国土交通大臣許可（特7）第009173号 国土交通大臣許可（特7）第009173号 国土交通大臣許可（特7）第009173号
企業集団	商号	エムオー工事株式会社	国土交通大臣許可（般4）第022369号

沿革

1953年 9月	建設基礎工事用仮設材の賃貸及び販売を事業内容として、資本金150万円をもって東京都江東区深川永代1丁目1番地に啓東産業株式会社を設立
1962年 8月	札幌営業所を開設（現札幌支店）
1965年 9月	名古屋営業所を開設（現名古屋支店）
1967年 5月	仙台営業所を開設（現東北支店）
1968年 2月	大阪支店を開設
1974年 6月	啓東建材リース株式会社に商号変更
1974年10月	福岡営業所を開設（現福岡支店）
1976年 6月	定款を変更し、とび・土工・コンクリート工事請負等の工事分野に進出
1976年 8月	建設業許可（東京都知事許可）を受ける
1980年 7月	広島営業所を開設（現中四国営業支店）
1983年10月	日商岩井鉄鋼リース株式会社に商号変更 東京支店（現東京本店）を本社より分離独立
1983年11月	特定建設業許可（建設大臣許可）を受ける
1993年11月	東京証券取引所市場第二部に上場
1999年 5月	ニッスル工事株式会社（現連結子会社、現エムオー工事株式会社）を設立
2003年 9月	会社設立50年を迎える
2004年10月	株式会社エムオーテックに商号変更 全事業所でISO14001 1996年版（現2015年度版）の認証を取得
2008年 4月	日本鉄鋼建材リース株式会社と合併 北陸支店を開設（現新潟営業支店）
2010年 4月	ホーチミン駐在員事務所を開設
2011年11月	ベトナム社会主義共和国のハナム省に、 M.O.TEC VIETNAM CO.,LTD.（現連結子会社）を設立
2012年 8月	ホーチミン駐在員事務所を閉鎖
2013年 5月	株式会社メタルワンの100%子会社となる それに伴い東京証券取引所市場第二部上場廃止

エムオーテック とは

2003年1月に、日商岩井株式会社（現双日株式会社）と三菱商事株式会社は、両社の鉄鋼製品事業を統合し、新会社として株式会社メタルワン（鉄鋼総合商社）を設立いたしました。

当社は、2004年10月メタルワングループの一員として、Metal OneのイニシャルのMとOにTECをあわせて、M.O.TEC（エムオーテック）に商号変更いたしました。ロゴ  は角のない、柔軟性のある、やわらかさを持った楕円形といたしました。重仮設業界におけるこれまでの実績を基盤として、更なる技術・エンジニアリング志向の企業を目指し努力してまいります。

事業内容

営業部門

賃貸及び販売

鋼矢板・H形鋼・鋼製山留・覆工板等、土木建築の基礎工事で使用する重仮設機材を建設会社に賃貸及び販売する業務を行っております。



技術部門

技術設計

仮設工事は、現場の地盤条件、施工条件、周辺環境についての総合的なリサーチを行ったうえで適切な工法、材料、施工管理方法などを決める必要があります。
技術スタッフは豊富なノウハウを駆使して、建設基礎工事をサポートしております。



工事部門

工事施工

山留杭の打込・引抜、山留支保工、作業用構台・栈橋の架設・撤去等基礎工事に関連する施工一式を請負う工事を行っております。
材料、施工機械、施工方法の選択などのプランニングから施工管理に至る総合的なサービスを提供しております。

■各種工事

- 回転圧入鋼管杭
NSエコパイル®
- ソイルセメント連続壁
TRD工法
シャトルウォール®工法
多軸工法
- 地中障害撤去
BG工法
ロックオーガー工法



工場部門

品質管理

幹線道路に隣接した工業団地を中心に配置した工場は、賃貸に使用し返却された機材を整備・加工して、いつでも次の出庫に備えて品質管理を行っております。



主要取扱商品

当社は、お客様のニーズに対応した重仮設機材を取り扱っております。

鋼矢板

鋼矢板は止水性の高い山留め壁として建築の地下工事、護岸、橋梁下部工事、下水道工事等、建築・土木双方の基礎工事に使用します。

- U形鋼矢板
- コーナー鋼矢板



H形鋼

H形鋼は断面がH形をした鋼材で山留めをはじめ汎用性のある仮設機材として、さまざまな現場で使用します。

- H形鋼 (広幅系列)
- H形鋼 (中幅系列)
- H形鋼 (細幅系列)



鋼製山留

鋼製山留は地盤を掘削する際、土砂の崩壊を防ぐ山留め壁を補強・支持する腹起し、切ばり材として使用します。
組立、解体を容易にするためH形鋼を加工し、ユニット、標準化した商品です。

- 主材・補助ピース
- 部材
- 消耗材



覆工板

覆工板は表面に滑り防止のため縞模様を形成した特殊なH形鋼を連続溶接し、一個のパネルとした商品で、地下鉄工事、下水道工事等、路面下を掘削する際、交通路を確保するための仮設路面板として使用します。
また、建設現場の構台・栈橋にも使用します。

- スチールデッキ (SS400タイプ)
- スチールデッキ (SM490Aタイプ)
- 隅デッキ (ハンチデッキ)



トレンチシステム

トレンチシステムは下水道工事等、管埋設工事の掘削用土留め壁として使用します。
あらかじめ土留め壁として組立てられた状態で掘削を行うため、安全性の高い商品です。

- TSI-K型
- TSI-K型 Fタイプ
- TSI-Kスイング型
- TSI-Kスイング型 Fタイプ
- TSII型
- パネル式防護柵



株式会社 エムオーテック 環境方針

＜基本理念＞

わが社は、社会資本整備の一翼を担う企業として、気候変動を含む環境課題への対応を経営の重要課題と位置付ける。地球環境の保全および汚染の予防を図り、持続可能な社会の実現に貢献するため、事業活動を通じて環境負荷の低減と新たな価値創出を両立し、社会から信頼される企業を目指す。

＜行動方針＞

1. 環境負荷低減と事業価値の両立

建設基礎工事用資材の「賃貸・販売・加工」、施工および設計に関わる全ての事業活動において環境影響を的確に把握し、環境負荷の低減を推進する。

- ・ 資材の循環利用
- ・ 施工・加工における省エネルギー・省資源の徹底
- ・ 環境配慮型工法・製品の開発・提供

2. 脱炭素・循環型社会への貢献

温室効果ガス排出削減と資源循環の推進を重要テーマとし、脱炭素社会の実現に貢献する。

- ・ CO₂排出量の把握・管理・削減
- ・ バイオ燃料等の導入推進
- ・ 廃棄物削減およびリユース・リサイクル・適切な処分の徹底

3. 環境配慮型ビジネスの推進

環境ニーズの高まりを事業機会と捉え、持続可能な社会に資する製品・サービスを提供する。

- ・ 低環境負荷工法（低CO₂ソイルセメント等）の開発・普及
- ・ 環境配慮型設備・施工技術の導入
- ・ 顧客・パートナーと連携した環境価値の創出

4. 法令遵守およびリスクマネジメント

環境関連法規制および当社が同意する要求事項を遵守するとともに、環境リスクの低減と予防に努める。

5. 地域社会への配慮

事業活動を通じて自然環境や地域社会への影響に配慮し、社会との共生を図る。

- ・ 地域社会との協働・環境活動への参画

6. サプライチェーンとの協働

協力会社・パートナーと連携し、サプライチェーン全体での環境対応・付加価値創出を推進する。

- ・ 協力会社への環境意識共有・教育
- ・ 資材・施工における環境配慮の推進

7. 環境マネジメントシステムの強化

PDCAサイクルに基づき環境マネジメントシステムを継続的に運営し、環境パフォーマンスの向上を図る。

- ・ 各組織における環境目標の設定・定期レビュー
- ・ データ活用による管理の高度化

8. 社内への教育・浸透および情報開示

全従業員に対し環境教育を実施し、本方針の浸透を図る。

また、利害関係者が入手可能となるよう環境に関する取組みを積極的に開示し、透明性を確保する。

＜附則＞

本方針は社会・事業環境の変化および経営戦略に応じ、定期的に見直す。

2026年6月1日
株式会社エムオーテック
代表取締役社長 宮本 剛



<https://ssl.motec-co.jp/>



M.O. TEC CORPORATION

〒108-0073 東京都港区三田1丁目4番28号(三田国際ビル)

TEL 03(5445)7800

FAX 03(5445)5080



登録範囲は
当社WEBサイトを参照



この冊子は古紙パルプ再生紙と大豆油インクを使用しています。

C5 ㊞ 2026.07.00625